

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	通訳基礎トレーニング		単位時間数	60 単位時間
担当教員	深井 裕美子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

通訳者に必要な基本技能のうち、特に「他者の話を聞く能力」の向上に焦点をあてる。
 具体的には、やや複雑な内容を理解し、その理解を可視化するトレーニングを行う。

【到達目標】

他者の話を聞く際に、知識をもとに論理的・構造的な理解ができるようになる

【授業内容 (予定)】

1	通訳トレーニング (辞書の使い方)
2	通訳トレーニング (辞書の使い方)
3	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
4	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
5	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
6	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
7	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
8	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
9	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
10	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
11	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
12	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
13	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
14	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
15	通訳トレーニング (ソーシャルスキル)
16	通訳トレーニング (言語外知識)
17	通訳トレーニング (言語外知識)
18	通訳トレーニング (言語外知識)
19	通訳トレーニング (言語外知識)
20	通訳トレーニング (言語外知識)
21	通訳トレーニング (言語外知識)

22	通訳トレーニング（言語外知識）
23	通訳トレーニング（言語外知識）
24	通訳トレーニング（言語外知識）
25	通訳トレーニング（言語外知識）
26	通訳トレーニング（グループワーク）
27	通訳トレーニング（グループワーク）
28	通訳トレーニング（グループワーク）
29	通訳トレーニング（グループワーク）
30	通訳トレーニング（グループワーク）
【評価方法】 発表、レポート、再発表	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 講義 株式会社ネスト代表取締役、日本映像翻訳アカデミー講師、（聴者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	日本語表現技術		単位時間数	30 単位時間
担当教員	浅利 真紀子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

日本語表現技術を向上させるためのさまざまなトレーニングを行うとともに、自主練習のための方法を紹介する。

【到達目標】

日本語表現技術について自主練習ができるようになる

【授業内容 (予定) 】

1	オリエンテーション
2	基礎①呼吸/姿勢
3	基礎②口の形/口の運動
4	基礎③表現技術
5	基礎④滑舌
6	応用①
7	応用②
8	応用③
9	応用④
10	応用⑤
11	応用⑥
12	応用⑦
13	応用⑧
14	応用⑨
15	まとめ

【評価方法】 授業態度と実技

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 実技
フリーアナウンサー（ボイス・コーポレーション）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	翻訳 I		単位時間数	20 単位時間
担当教員	宮澤 典子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】日本手話から日本語への翻訳の技術を習得する。
 日本手話と日本語の言語構造の違いが大きい部分を特に取り上げ、構造の違いにもとづく翻訳の基本方針と具体的な技術について指導する。
 課題動画をもとに学生各自が翻訳したものをクラス全体に提示しながらコメントする形で進める。
 日本語が文脈依存型であり、文脈によって翻訳内容が大きく変わること留意する。

【到達目標】

手話から日本語への翻訳技術の基本を身につける

【授業内容 (予定)】

1	使役構文①：動詞連続構文と使役構文の関係
2	使役構文②：Aわかる／かまわないB構文—A部の文型のバリエーション
3	使役構文③：Aわかる／かまわないB構文—A部に働きかけがないタイプ
4	使役構文④：Aわかる／かまわないB構文—受身の問題等
5	発見構文①：時間の短さの含意
6	発見構文②：変化に気づくタイミングの処理
7	発見構文③：時間的順序の制約に関する翻訳技術
8	譲歩構文①：AよいB構文
9	譲歩構文②：AわかるB構文
10	譲歩構文③：A思うB構文

【評価方法】 授業態度、翻訳解答、レポート

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

手話通訳学科元専任教官 (手話通訳士)、聴者、一般社団法人全国手話通訳問題研究会執行理事

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	翻訳Ⅱ		単位時間数	40 単位時間
担当教員	加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

書記日本語から日本手話に翻訳し、それを相手に話し聞かせるトレーニング。
相手はろう児 (小学低学年) を想定。

事前課題あり：

【到達目標】

子どもを対象として手話で説明できる技術の基本を身につける

【授業内容 (予定)】

1	「どちらが子どもをよけい産むかで、ケンカするブタとイヌ」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
2	「どちらが子どもをよけい産むかで、ケンカするブタとイヌ」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
3	「ガチョウとツル」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
4	「ガチョウとツル」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
5	「小ガラスとハト」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
6	「小ガラスとハト」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
7	「アリに刺された男とヘルメス」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
8	「アリに刺された男とヘルメス」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
9	「ネズミとカエル」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
10	「ネズミとカエル」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
11	「ネズミの会議」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
12	「ネズミの会議」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
13	「腹のふくれたキツネ」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
14	「腹のふくれたキツネ」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
15	「泥棒とニワトリ」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
16	「泥棒とニワトリ」(2) 音声日本語→日本手話に通訳

17	「片目のシカ」(1) 手話動画(翻訳)をみて検証
18	「片目のシカ」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
19	「こうもりとイタチ」(1) 手話動画(翻訳)をみて検証
20	「こうもりとイタチ」(2) 音声日本語→日本手話に通訳
【評価方法】 事前課題と授業態度	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科専任教官(ろう者)	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	翻訳Ⅱ		単位時間数	20 単位時間
担当教員	木村 晴美	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

書記日本語から日本手話に翻訳し、それを相手に話し聞かせるトレーニング。
相手はろう児 (小学低学年) を想定。

事前課題あり：

【到達目標】

子どもを対象として手話で説明できる技術の基本を身につける

【授業内容 (予定)】

1	「ハエたち」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
2	「ハエたち」(2) コメントを受けて再翻訳したもの (手話動画) を評価
3	「大きい魚と小さい魚」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
4	「大きい魚と小さい魚」(2) コメントを受けて再翻訳したもの (手話動画) を評価
5	「塩をはこぶロバ」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
6	「塩をはこぶロバ」(2) コメントを受けて再翻訳したもの (手話動画) を評価
7	「旅人とクマ」(1) 手話動画 (翻訳) をみて検証
8	「旅人とクマ」(2) コメントを受けて再翻訳したもの (手話動画) を評価
9	応用 (復習)
10	応用 (復習)

【評価方法】 事前課題と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

NPO法人手話教師センター登録手話教師、NHK手話ニュースキャスター (ろう者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	翻訳Ⅱ		単位時間数	20 単位時間
担当教員	下城 史江	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】説明力・説得力を身につけるのが目標

- ・どんな病気？ (説明力)
- ・受けた方がよい治療法について (説得力)

相手は、日本手話が母語話者で、日本語に苦手意識をもつ50～60代ろう者を想定
事前課題あり：1人3分以内にまとめる。(ビデオ収録)

【到達目標】

医療分野の内容を手話で説明できる

【授業内容 (予定)】

1	導入：自身や家族、友人、著名人の怪我、病気、治療法等について話し合う
2	くも膜下出血
3	ナルコレプシー
4	パーキンソン病
5	緑内障→メニエール病
6	腎臓病→狂犬病
7	骨粗鬆症
8	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
9	応用 (復習)
10	応用 (復習)

【評価方法】 事前課題と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

NPO法人手話教師センター登録手話教師 (ろう者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	翻訳Ⅱ		単位時間数	44 単位時間
担当教員	下城 史江	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

- A 課題文を日本手話に翻訳する。ビデオに収録し、授業当日までにクラスルームにアップする。
 チェックを受ける。内容に関連した語彙を身につける。
- B 再チャレンジ。授業当日までにクラスルームにアップし、講評を受ける。

【到達目標】

介護に関する手話語彙やCL表現を増やす。日本語から手話への翻訳能力を高める。

【授業内容 (予定)】

1	A 耳鳴り (症状)
2	A アルコール依存症 (症状)
3	A 緑内障 (症状)
4	A 動脈硬化 (治療)
5	A メニエール病 (症状)
6	A おたふく風邪 (症状)
7	A 外反母趾 (症状)
8	A 麻疹 (症状)
9	A ピロリ菌感染症の原因
10	A 破傷風の概要
11	B 「腹痛の患者さんの検査結果について」 (初聞き通訳)
12	B 「腹痛の患者さんの検査結果について」 (復習)
13	B 「血圧の薬について」 (初聞き通訳)
14	B 「血圧の薬について」 (復習)
15	B 「食生活の指導について」 (初聞き通訳)
16	B 「食生活の指導について」 (復習)
17	B 「ペースメーカーを使用する人へ」 (初聞き通訳)

18	B「ペースメーカーを使用する人へ」(復習)
19	B「入院にあたってのご案内」(初聞き通訳)
20	B「入院にあたってのご案内」(復習)
21	B「脳塞栓後のリハビリ入院について」(初聞き通訳)
22	B「脳塞栓後のリハビリ入院について」(復習)
【評価方法】 実技と授業態度	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 NPO法人手話教師センター登録手話教師(ろう者)	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス（授業計画）

学 年	2年生（35期）	授業科目	翻訳Ⅱ		単位時間数	24 単位時間
担当教員	海野 和子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

説明的談話トレーニング、CL構文表出のトレーニング

【到達目標】

相手にわかるように手話で説明する力を身につける

【授業内容（予定）】

1	説明的談話のトレーニング「トランプ ババ抜き遊び方」
2	説明的談話のトレーニング「服にくっついてしまったチューインガムの取り方」
3	説明的談話のトレーニング「火事になったときの避難方法」
4	説明的談話のトレーニング「美味しいカフェオレの作り方」
5	説明的談話のトレーニング「過呼吸（過換気症候群）の正しい対処法」
6	説明的談話のトレーニング「ぎっくり腰の予防方法」
7	説明的談話のトレーニング「毒蛇にかまれたときの対処法」
8	説明的談話のトレーニング「お好み焼き 大阪と広島 違いは？」
9	説明的談話のトレーニング「バリウム検査の受け方」
10	説明的談話のトレーニング「色覚異常（色弱・色盲）の人の見え方は？」
11	説明的談話のトレーニング「洗濯機から異臭がしたときの対処方法」
12	説明的談話のトレーニング「マスククリアのやり方（ダイビング）」

【評価方法】 事前課題と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

俳優、NPO法人手話教師センター登録手話教師、NHK手話ニュースキャスター（ろう者）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	40 単位時間
担当教員	川口 千佳	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

日本手話から日本語への「読み取り通訳」の技術を習得する。

限られた話者のよく似た構造の談話を継続的に取り上げることによって、学生の課題を浮き彫りにし、その改善を図る。

動画を再生しながら通訳した内容を音声でアフターレコーディングし、その内容をもとにクラスで問題点を指摘し合う。事後レポートでは、通訳内容を文字起こしし、問題点・改善点を整理した上で、「理想の通訳」を作成する。

【到達目標】

手話から日本語への通訳能力の基礎を身につける

【授業内容 (予定)】

1	「いたずらシリーズ①」(初見)
2	「いたずらシリーズ②」(初見)
3	「いたずらシリーズ③」(初見)
4	「いたずらシリーズ④」(初見)
5	「いたずらシリーズ⑤」(初見)
6	「いたずらシリーズ⑥」(初見)
7	「いたずらシリーズ⑦」(初見)
8	「いたずらシリーズ⑧」(初見)
9	「いたずらシリーズ⑨」(初見)
10	「いたずらシリーズ⑩」(初見)
11	「いたずらシリーズ」(2回目)
12	「いたずらシリーズ」(2回目)
13	「いたずらシリーズ」(2回目)
14	「いたずらシリーズ」(2回目)
15	「いたずらシリーズ」(2回目)
16	「いたずらシリーズ」(2回目)
17	「いたずらシリーズ」(2回目)

18	「いたずらシリーズ」(2回目)
19	「いたずらシリーズ」(2回目)
20	「いたずらシリーズ」(2回目)
【評価方法】 実技	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科専任教官(手話通訳士)	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	30 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

手話から日本語への翻訳通訳

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を身につける

【授業内容 (予定)】

1	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
2	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
3	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
4	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
5	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
6	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
7	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
8	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
9	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
10	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
11	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
12	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
13	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
14	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳)
15	手話から日本語への翻訳 (構造訳) ・通訳 (日本語訳) ・まとめ

【評価方法】 実技

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

手話通訳学科専任教官 (手話通訳士)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	1年生 (36期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	58 単位時間
担当教員	宮澤 典子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

手話から日本語への翻訳通訳

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を身につける

【授業内容 (予定)】

1	手話から書記日本語への翻訳 (私の家族)
2	手話から書記日本語への翻訳 (私と次男の成長)
3	手話から書記日本語への翻訳 (近所で火事)
4	手話から書記日本語への翻訳 (近所の子水死)
5	手話から日本語への通訳 (ネコ)
6	手話から日本語への通訳 (映画)
7	手話から日本語への通訳 (ロングヘア)
8	手話から日本語への通訳 (風に飛ばされて大けが)
9	手話から日本語への通訳 (インテ推進組・前半)
10	手話から日本語への通訳 (インテ推進組・後半)
11	手話から日本語への通訳 (コーダのホームサイン)
12	手話から日本語への通訳 (足にケガ)
13	手話から日本語への通訳 (豪華な温泉宿)
14	手話から日本語への通訳 (長岡花火自慢)
15	手話から日本語への通訳「インテの子」
16	手話から日本語への通訳「山登り中の川遊び」
17	手話から日本語への通訳「絵が好き」
18	手話から日本語への通訳「パソコンの修理」

19	手話から日本語への通訳（応用）
20	手話から日本語への通訳（応用）
21	手話から日本語への通訳（応用）
22	手話から日本語への通訳（応用）
23	手話から日本語への通訳（応用）
24	手話から日本語への通訳（応用）
25	手話から日本語への通訳（応用）
26	手話から日本語への通訳（応用）
27	手話から日本語への通訳（応用）
28	手話から日本語への通訳（まとめ1）
29	手話から日本語への通訳（まとめ2）
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科元専任教官（手話通訳士）、一般社団法人全国手話通訳問題研究会執行理事	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	60 単位時間
担当教員	川口 千佳	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

日本手話から日本語への「読み取り通訳」の技術を習得する。

限られた話者のよく似た構造の談話を継続的に取り上げることによって、学生の課題を浮き彫りにし、その改善を図る。

動画を再生しながら通訳した内容を音声でアフターレコーディングし、その内容をもとにクラスで問題点を指摘し合う。事後レポートでは、通訳内容を文字起こしし、問題点・改善点を整理した上で、「理想の通訳」を作成する。

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を身につける

【授業内容 (予定)】

1	「私の生い立ち①」
2	「私の生い立ち②」
3	「私の生い立ち③」
4	「私の生い立ち④」
5	「私の生い立ち⑤」
6	「私の生い立ち⑥」
7	「私の生い立ち⑦」
8	「私の生い立ち⑧」
9	「私の生い立ち⑨」
10	「私の生い立ち⑩」
11	「私の生い立ち⑪」
12	「私の生い立ち⑫」
13	「私の生い立ち⑬」
14	「私の生い立ち⑭」
15	「私の生い立ち⑮」
16	「私の生い立ち⑯」
17	「私の生い立ち⑰」
18	「私の生い立ち⑱」

19	「私の生い立ち⑱」
20	「私の生い立ち⑳」
21	「私の生い立ち㉑」
22	「私の生い立ち㉒」
23	「私の生い立ち㉓」
24	「私の生い立ち㉔」
25	「私の生い立ち㉕」
26	「私の生い立ち㉖」
27	「私の生い立ち㉗」
28	「私の生い立ち㉘」
29	「私の生い立ち㉙」
30	「私の生い立ち㉚」
【評価方法】 実技	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科専任教官（手話通訳士）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	40 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

手話から日本語への翻訳通訳

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を身につける

【授業内容 (予定) 】

1	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
2	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
3	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
4	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
5	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
6	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
7	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
8	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
9	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
10	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
11	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
12	手話から日本語への通訳と通訳チェック (モノログ通訳)
13	手話から日本語への通訳と通訳チェック (ダイアログ通訳)
14	手話から日本語への通訳と通訳チェック (ダイアログ通訳)
15	手話から日本語への通訳と通訳チェック (ダイアログ通訳)
16	手話から日本語への通訳と通訳チェック (ダイアログ通訳)
17	手話から日本語への通訳と通訳チェック (ダイアログ通訳)
18	手話から日本語への通訳と通訳チェック (ダイアログ通訳)

19	手話から日本語への通訳と通訳チェック（ダイアログ通訳）
20	手話から日本語への通訳と通訳チェック（ダイアログ通訳）
【評価方法】 実技	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科専任教官（手話通訳士）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	48 単位時間
担当教員	宮澤 典子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

手話から日本語への翻訳通訳
場面通訳

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を習得する

【授業内容 (予定)】

1	手話から日本語への通訳 (和裁学校へ：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳)
2	手話から日本語への通訳 (身体障害者福祉法：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳)
3	手話から日本語への通訳 (初めてのろう学校：事前にタイトルを提示し冒頭部分を確認してから初見で通訳)
4	場面通訳 (手話通訳 I 第11講座「遺失届け」)
5	手話から日本語への通訳 (ゲートボール前半：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳)
6	手話から日本語への通訳 (ゲートボール後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳)
7	場面通訳 (手話通訳 I 第13講座「キャンプ場の電話予約」)
8	手話から日本語への通訳 (韓国旅行前半：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳)
9	手話から日本語への通訳 (韓国旅行後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳)
10	手話から日本語への通訳 (息子の心配前半：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳)
11	手話から日本語への通訳 (息子の心配後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳)
12	場面通訳 (手話通訳 II 第16講座「広報委員会」)
13	手話から日本語への通訳 (寄宿舎の生活：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳)
14	手話から日本語への通訳 (寄宿舎の生活後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳)
15	手話から日本語への通訳 (米国で考えたこと：事前にタイトルを提示し情報を確認してから初見通訳)
16	手話から日本語への通訳 (米国で考えたこと後半：前半の話題を踏まえて後半を初見通訳)
17	場面通訳 (手話通訳 II 第32講座「自治体の会議」)
18	手話から日本語への通訳 (腎臓を大切に I：事前資料を提示し通訳準備を行う)

19	手話から日本語への通訳（腎臓を大切にⅡ：事前準備をもとに2人組で初見通訳）
20	手話から日本語への通訳（腎臓を大切にⅢ：事前準備をもとに2人組で初見通訳）
21	手話から日本語への通訳のまとめ
22	手話から日本語への通訳のまとめ
23	手話から日本語への通訳のまとめ
24	手話から日本語への通訳のまとめ
【評価方法】 実技と授業態度	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科元専任教官（手話通訳士）、聴者、一般社団法人全国手話通訳問題研究会執行理事	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳 I		単位時間数	30 単位時間
担当教員	性全 幸	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

手話から書記日本語への要約と翻訳

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの翻訳技術を習得する

【授業内容 (予定)】

1	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②-1
2	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②-2
3	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②-3 (宿題)
4	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③-1
5	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③-5
6	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ②-4 (宿題)
7	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③-6
8	手話通訳を目指す人たちの 読み取り学習用ビデオ ③-7
9	平成30年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)
10	令和元年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)
11	令和2年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)
12	令和3年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)
13	令和4年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)
14	令和5年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)
15	令和6年度 手話通訳者統一試験実技問題 (過去問題)

【評価方法】 授業態度と実技

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】 手話動画課題を用いた実技指導
手話通訳士

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	80 単位時間
担当教員	加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

反転授業の一環として実施

- ①翻訳課題を期限までに提出 (YoutubeのURLをメール)
- ②モデル翻訳動画 (YoutubeのURL) を送付
- ③自分の翻訳動画とモデル翻訳動画を比較分析 (語彙の選択、文法の言語面、翻訳面)
- ④授業において分析内容を発表、教官からコメント (指摘、修正、意見等)

【到達目標】

手話通訳士に合格するレベルの手話翻訳技術を習得する

【授業内容 (予定)】

1	日本語から手話への翻訳 1
2	日本語から手話への翻訳 2
3	日本語から手話への翻訳 3
4	日本語から手話への翻訳 4
5	日本語から手話への翻訳 5
6	日本語から手話への翻訳 6
7	日本語から手話への翻訳 7
8	日本語から手話への翻訳 8
9	日本語から手話への翻訳 9
10	日本語から手話への翻訳 10
11	日本語から手話への翻訳 11
12	日本語から手話への翻訳 12
13	日本語から手話への翻訳 13
14	日本語から手話への翻訳 14
15	日本語から手話への翻訳 15
16	日本語から手話への翻訳 16
17	日本語から手話への翻訳 17
18	日本語から手話への翻訳 18
19	日本語から手話への翻訳 19

20	日本語から手話への翻訳 20
21	日本語から手話への翻訳 21
22	日本語から手話への翻訳 22
23	日本語から手話への翻訳 23
24	日本語から手話への翻訳 24
25	日本語から手話への翻訳 25
26	日本語から手話への翻訳 26
27	日本語から手話への翻訳 27
28	日本語から手話への翻訳 28
29	日本語から手話への翻訳 29
30	日本語から手話への翻訳 30
31	日本語から手話への翻訳 31
32	日本語から手話への翻訳 32
33	日本語から手話への翻訳 33
34	日本語から手話への翻訳 34
35	日本語から手話への翻訳 35
36	日本語から手話への翻訳 36
37	日本語から手話への翻訳 37
38	日本語から手話への翻訳 38
39	日本語から手話への翻訳 39
40	日本語から手話への翻訳 40
【評価方法】 翻訳の自己分析力を評価	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 反転授業 手話通訳学科専任教官（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	40 単位時間
担当教員	木村 晴美	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

反転授業の一環として実施

- ①翻訳課題を期限までに提出 (YoutubeのURLをメール)
- ②モデル翻訳動画 (YoutubeのURL) を送付
- ③自分の翻訳動画とモデル翻訳動画を比較分析 (語彙の選択、文法の言語面、翻訳面)
- ④授業において分析内容を発表、教官からコメント (指摘、修正、意見等)

【到達目標】

手話通訳士に合格するレベルの手話翻訳技術を習得する

【授業内容 (予定)】

1	日本語から手話への翻訳 1
2	日本語から手話への翻訳 2
3	日本語から手話への翻訳 3
4	日本語から手話への翻訳 4
5	日本語から手話への翻訳 5
6	日本語から手話への翻訳 6
7	日本語から手話への翻訳 7
8	日本語から手話への翻訳 8
9	日本語から手話への翻訳 9
10	日本語から手話への翻訳 10
11	日本語から手話への翻訳 11
12	日本語から手話への翻訳 12
13	日本語から手話への翻訳 13
14	日本語から手話への翻訳 14
15	日本語から手話への翻訳 15
16	日本語から手話への翻訳 16
17	日本語から手話への翻訳 17
18	日本語から手話への翻訳 18
19	日本語から手話への翻訳 19

20	日本語から手話への翻訳 20
【評価方法】 翻訳の自己分析力を評価	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 反転授業 NPO法人手話教師センター登録手話教師、NHK手話ニュースキャスター（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ (3グループ)		単位時間数	80 単位時間
担当教員	野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

1000字の書記日本語を手話翻訳できる力を身につけることを目標とする。

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの翻訳能力を身につける

【授業内容 (予定)】

1	【変わる大学入試】
2	【オンラインショッピング急増で人手不足】
3	【ふるさと納税】
4	【メタバース】
5	【デング熱はどんな病気で感染するとどうなるの?】
6	【人と魚の不思議な関係】
7	【沖縄・普天間基地移設問題】
8	【常識とは】
9	【働き方改革は実現するか】
10	【東京五輪までに「ホームパーティー文化」は根付くか?】
11	【プラスチックごみ問題】
12	【マンデラ氏死亡 今こそ継承したい寛容の精神】
13	【ネット侮辱罪】
14	【特別な金曜日】
15	【SDG s】
16	【迷走する豊洲市場移転問題】
17	【高齢者の定義は65歳から75歳へ】
18	【マイナンバー】
19	【人生相談】
20	【プロスポーツ選手の陰で支える通訳という存在】

【評価方法】 実技

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

手話通訳学科専任教官（ろう者）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	16 単位時間
担当教員	野口 岳史	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

ろう者に伝わる卒研プレゼンの方法を学び、フィードバックを受ける

【到達目標】

卒研でプレゼンができる

【授業内容 (予定)】

1	卒研プレゼン①
2	卒研プレゼン②
3	卒研プレゼン③
4	卒研プレゼン④
5	卒研プレゼン⑤
6	卒研プレゼン⑥
7	卒研プレゼン⑦
8	卒研プレゼン⑧

【評価方法】 実技と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

手話通訳学科専任教官 (ろう者)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	50 単位時間
担当教員	福光 あずさ	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

DVD「手話通訳レッスン」初心者コース7（災害編）利用。2回で1セット。1回目は初聞き。イヤホン利用（全員）。2回目は復習（練習）をした上で再チャレンジ。

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を身につける

【授業内容（予定）】

1	「住宅用火災警報器」初聞き（全員）イヤホン利用
2	「住宅用火災警報器」再チャレンジ
3	「地震が起きたときには」初聞き（全員）イヤホン利用
4	「地震が起きたときには」再チャレンジ
5	「どんな津波だったのか」初聞き（全員）イヤホン利用
6	「どんな津波だったのか」再チャレンジ
7	「避難所生活できず」初聞き（全員）イヤホン利用
8	「避難所生活できず」再チャレンジ
9	「ボランティア」初聞き（全員）イヤホン利用
10	「ボランティア」再チャレンジ
11	「計画的避難始まる」初聞き（全員）イヤホン利用
12	「計画的避難始まる」再チャレンジ
13	「放射線とは何？」初聞き（全員）イヤホン利用
14	「放射線とは何？」再チャレンジ
15	「遅すぎる説明」初聞き（全員）イヤホン利用
16	「遅すぎる説明」再チャレンジ
17	「手話通訳者等の派遣」初聞き（全員）イヤホン利用

18	「手話通訳者等の派遣」再チャレンジ
19	ラグビー観戦 マナー講座
20	ラグビーのルール ズルだめ篇
21	7人制ラグビー（セブンズ）ルール
22	レスリング・フリースタイルのルール
23	野球のルール ポジション編
24	野球のルール 超・初級編
25	大相撲のルール
【評価方法】 実技	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 NPO法人手話教師センター登録手話教師、日本社会事業大学非常勤講師（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	56 単位時間
担当教員	小野寺 善子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

手話通訳士試験・統一試験対策

A : DVD「手話通訳レッスン」初心者コース9 (相談編) 利用。2回で1セット。1回目は初聞き。イヤホン利用 (全員)。2回目は復習 (練習) をした上で再チャレンジ。

B DVD「手話通訳レッスン」初心者コース4 (気になる話題) 利用。2回で1セット。1回目は初聞き。イヤホン利用 (全員)。2回目は復習 (練習) をした上で再チャレンジ。

※いずれも通訳モデル動画あり (宮澤先生)

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの通訳能力を身につける

【授業内容 (予定)】

1	B DVD「ダイエットを成功させるための基本的心構え」 イヤホンを使って初聞き (全員)
2	B DVD「ダイエットを成功させるための基本的心構え」 再チャレンジ
3	A DVD「『断捨離』する」 イヤホンを使って初聞き (全員)
4	A DVD「『断捨離』する」 再チャレンジ
5	B DVD「エコライフ」 イヤホンを使って初聞き (全員)
6	B DVD「エコライフ」 再チャレンジ
7	A DVD「子どものインターネット利用」 イヤホンを使って初聞き (全員)
8	A DVD「子どものインターネット利用」 再チャレンジ
9	B DVD「新しいタイプの栄養失調」 イヤホンを使って初聞き (全員)
10	B DVD「新しいタイプの栄養失調」 再チャレンジ
11	A DVD「介護の相談」 イヤホンを使って初聞き (全員)
12	A DVD「介護の相談」 再チャレンジ
13	B DVD「老老介護」 イヤホンを使って初聞き (全員)
14	B DVD「老老介護」 再チャレンジ
15	A DVD「年金の相談」 イヤホンを使って初聞き (全員)
16	A DVD「年金の相談」 再チャレンジ
17	B DVD「お見舞いの品を考える」 イヤホンを使って初聞き (全員)

18	B DVD「お見舞いの品を考える」再チャレンジ
19	A DVD「いじめの相談」イヤホンを使って初聞き（全員）
20	A DVD「いじめの相談」再チャレンジ
21	B DVD「インターネットをするときはウイルスに注意」イヤホンを使って初聞き（全員）
22	B DVD「インターネットをするときはウイルスに注意」再チャレンジ
23	A DVD「近隣のトラブル」イヤホンを使って初聞き（全員）
24	A DVD「近隣のトラブル」再チャレンジ
25	応用（復習）
26	応用（復習）
27	応用（復習）
28	まとめ
【評価方法】 実技と授業態度	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 NPO法人手話教師センター登録手話教師、NHK手話ニュースキャスター（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	22 単位時間
担当教員	數見 陽子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

①書記日本語を日本手話に翻訳する ②聴文化（笑い）をどう翻訳するか
→手話に翻訳し、課題を前もって提出（動画）
オンライン授業でコメントをもらう

【到達目標】

笑いをテーマにした内容を手話に翻訳できる

【授業内容（予定）】

1	「ナポリタンさん、あなたのおかげでつづりを覚えられました」
2	「“あうんの呼吸”って臭いものなんですね」
3	「私のオッパイをこんなにしたのは・・・」
4	「長いオッパイ・・・」
5	「パスポートの写真も・・・」
6	「使用後も計画的に・・・」
7	「チ〇を揉む！」
8	「赤ん坊は見ていた」
9	「言い間違い」
10	「カツラが・・・」
11	「旦那百まで癖治らず・・・」

【評価方法】 実技と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

俳優、NPO法人手話教師センター登録手話教師、慶應義塾大学非常勤講師（ろう者）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅱ		単位時間数	38 単位時間
担当教員	澤田 利江	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

通訳基礎トレーニングの一環として行う。

- 1回目：課題文を日本語に要約し、その要約したものを手話に翻訳する。
- 2回目：同課題文を日本手話に翻訳・通訳する。

【到達目標】

手話通訳士試験合格レベルの手話通訳能力を習得する

【授業内容 (予定)】

1	課題1 (要約) 朝起きられない息子の将来が不安な母
2	課題2 (翻訳・通訳) 朝起きられない息子の将来が不安な母
3	課題3 (要約) チョコを見ると意地汚くなる
4	課題4 (翻訳・通訳) チョコを見ると意地汚くなる
5	課題5 (要約) 友人の長電話に困っています
6	課題6 (翻訳・通訳) 友人の長電話に困っています
7	課題7 (要約) 老犬を施設に預けたいが家族が反対
8	課題8 (翻訳・通訳) 老犬を施設に預けたいが家族が反対
9	課題9 (要約) 「押し活」やめてつらい
10	課題10 (翻訳・通訳) 「押し活」やめてつらい
11	課題11 (要約) 妻から「くさい」と言われる
12	課題12 (翻訳・通訳) 妻から「くさい」と言われる
13	課題13 (要約) DV夫だが母は「パパ」とお気に入り
14	課題14 (翻訳・通訳) DV夫だが母は「パパ」とお気に入り
15	課題15 (要約) 他界した夫の浮気を暴露してきた友人
16	課題16 (翻訳・通訳) 他界した夫の浮気を暴露してきた友人

17	課題17（要約）信仰熱心な母、父の遺産はひとり占め
18	課題18（要約・通訳）信仰熱心な母、父の遺産はひとり占め
19	まとめ・フィードバック
【評価方法】 実技と授業態度	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 俳優、NPO法人手話教師センター登録手話教師、NPOデフNet.かごしま代表（ろう者）	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅲ		単位時間数	116 単位時間
担当教員	宮澤 典子	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

さまざまな領域・場面における模擬通訳をととして通訳実践力を習得する。
 模擬通訳後のフィードバックをととして通訳実践力を習得する。

【到達目標】

さまざまな領域・場面における通訳ができる

【授業内容 (予定)】

1	ガイダンス
2,3,4	講演会の通訳 (過程別：準備～打ち合わせ～通訳開始・実施～通訳終了)
5,6,7	講演会の通訳 (自治体主催セミナー)
8,9,10	講演会の通訳 (クリニック主催健康講座)
11,12,13	ワークショップの通訳 (クリニック主催母親教室)
14,15,16	会議の通訳 (自治会)
17,18,19	講演会の通訳 (手話サークル主催講演会)
20,21,22	式典の通訳 (カメラ店主催表彰式)
23,24,25	ワークショップの通訳 (手芸店主催イレイサースタンプ作り)
26,27,28	会議の通訳
29,30,31	会議の通訳
32,33,34	会議の通訳
35,36,37	会議の通訳
38,39,40	グループワークの通訳
41,42,43	グループワークの通訳
44,45,46	グループワークの通訳
47,48,49	グループワークの通訳

50,51,52	講演会の通訳
53,54,55	講演会・シンポジウムの通訳
56,57,58	オンライン講演会の通訳
【評価方法】 実技と授業態度	
【教科書】 なし	
【授業の形式と教員紹介】 手話通訳学科元専任教官（手話通訳士）、一般社団法人全国手話通訳問題研究会執行理事	

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅲ		単位時間数	32 単位時間
担当教員	木村 晴美	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

模擬通訳の実践を通じて、実践的な通訳技術・対応力・態度を養う。

【到達目標】

- ・基本的な通訳技術（正確性、表現力、態度）を理解し、模擬通訳に応用できる。
- ・多様なコミュニティ場面に対応できる通訳表現力を高める。
- ・通訳場面に応じた適切な立ち振る舞いや配慮を身につける。
- ・フードバックを通して自己評価・他者評価を行い、学びを深める。

【授業内容（予定）】

1,2	オリエンテーション・場面通訳 模擬通訳の目的・進め方の確認／通訳理論や基本姿勢（服装、待ち合わせ、持ち物等）
3,4	役所での手続き① 住民票の取得・転入届など簡単な手続きの模擬通訳
5,6	役所での手続き② 福祉サービスに関する相談や申請などの模擬通訳
7,8	病院での通訳① 初診の受付、問診、症状の説明の模擬通訳
9,10	病院での通訳② 診察のやりとり、薬の説明、診断結果の模擬通訳
11,12	店舗・サービス利用 スーパー・コンビニ・美容院など日常的な買い物やサービス利用の通訳
13,14	警察・トラブル対応 道案内・遺失物・相談対応など警察とのやりとりの模擬通訳
15,16	まとめと振り返り 全体の振り返り、成果発表、自己評価・相互評価、今後の課題の共有

【評価方法】 実技と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

NPO法人手話教師センター登録手話教師、NHK手話ニュースキャスター（ろう者）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅲ		単位時間数	90 単位時間
担当教員	江原 こう平	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

通訳は言語と文化・生活様式が異なる人々間のコミュニケーションを仲介する行為であり、実際の通訳場面では両者の意見や立場を知り得る唯一の人として通訳者は重要な役割を担う。
 様々な領域・場面における模擬通訳をとおして手話通訳者の役割、通訳実践力を習得する。
 模擬通訳後のフィードバックをとおして通訳実践力を習得する。

【到達目標】

さまざまな領域・場面における通訳ができる

【授業内容 (予定) 】

1,2,3	模擬通訳① 講演会場面
4,5,6	模擬通訳② 講演会場面
7,8,9	模擬通訳③ 会議場面
10,11,12	模擬通訳④ 会議場面
13,14,15	模擬通訳⑤ 電話通訳
16,17,18	模擬通訳⑥ 電話通訳
19,20,21	模擬通訳⑦ 医療場面 (待ち合わせから診察室での通訳前まで)
22,23,24	模擬通訳⑧ 医療場面 (待ち合わせから診察室での通訳前まで)
25,26,27	模擬通訳⑨ 映像通訳
28,29,30	模擬通訳⑨ 映像通訳
31,32,33	模擬通訳⑩ テレビ通訳
34,35,36	模擬通訳⑩ テレビ通訳
37,38,39	模擬通訳⑬ イベント通訳
40,41,42	模擬通訳⑭ イベント通訳
43,44,45	模擬通訳⑮ イベント通訳
【評価方法】 実技と授業態度	

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】講師1名（宮澤先生）・教官3名（野口、川口、加藤）の参加も1回あり
手話通訳学科専任教官（手話通訳士）

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅲ		単位時間数	20 単位時間
担当教員	川口 千佳	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

電話リレーサービスを想定した電話通訳の模擬通訳を実施。

【到達目標】

さまざまな領域・場面における通訳ができる

【授業内容 (予定)】

1,2	電話リレーサービス通訳
3,4	電話リレーサービス通訳
5,6	電話リレーサービス通訳
7,8	電話リレーサービス通訳
9,10	電話リレーサービス通訳

【評価方法】 実技と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

手話通訳学科専任教官 (手話通訳士)

令和7年度 手話通訳学科 シラバス (授業計画)

学 年	2年生 (35期)	授業科目	通訳Ⅲ		単位時間数	20 単位時間
担当教員	江原 こう平 加藤 小夜里	履修分類	専門科目	科目分類	手話通訳実技	

※実務経験ある教員等による授業科目

【授業概要】

統一試験対策・手話通訳士試験対策を行う

【到達目標】

さまざまな領域・場面における通訳ができる

【授業内容 (予定)】

1,2	統一試験対策
3,4	統一試験対策
5,6	統一試験対策
7,8	手話通訳士試験対策
9,10	手話通訳士試験対策

【評価方法】 実技と授業態度

【教科書】 なし

【授業の形式と教員紹介】

手話通訳学科専任教官 (聴者)、手話通訳学科専任教官 (ろう者)